

## 点訳童謡の贈呈

生活福祉科介護福祉専攻

田岡 洋子

生活福祉科介護福祉専攻の於久沙織さんは卒業研究で、「金子みすず童謡集」を点訳し、視覚障害のある人にはもちろん、点訳を学びたい人にも参考にしていただけるよう、点訳童謡などを制作し、舞鶴市西図書館（舞鶴市字円満寺100-8）へ贈呈した。そのタイトルは次のものです。

明るいほうへ	ゆめ売り	万倍	さかむけ
草原の夜	2つの草	蓄音機	わたしと小鳥とすずと
水と影	世界中の王様	おもちゃのない子が	ふしぎ
風	このみち	ねがい	星とたんぽぽ
海とかもめ	月日貝	土と草	ゆめとうつつ
ひまわり	わたし	草の名	だれがほんとを
夜ふけの空	月のひかり	水	こころ
さびしいとき	月と雲	土	花のたましい
けんかのあと	みそはぎ	なかなおり	
光のかご	硝子と文字	みんなをすきに	

引用文献は金子みすず著「明るいほうへ」JULA 出版局 1995. 3. 10

金子みすず著「このみちをゆこうよ」JULA 出版局 1998. 2. 25

金子みすず著「わたしと小鳥とすずと」JULA 出版局 2001. 2. 21 です。

また、下記写真は金子みすず記念館（山口県長門市仙崎字西祇園 1308）のみすずさんの部屋です。

